

# 社会学

Sociology

薬：K1-12101MY、生命：K1-12101MS

素養科目 1、2、3年／前期または後期 1単位 選択科目

科目責任者 高野 麻子(社会学研究室)

## ■教育目的

本講義では、社会学の基礎を学びます。「社会学＝文系の学問」ではありません。私たちが日常生活のなかで無意識のうちに行う判断や振る舞いが、どのような社会構造のもとに規定されているのかを考える学問です。人は他者とかがかり合いながら生きています。社会と無関係でいられる人はいないのです。授業を通じて「当たり前」という感覚がいかんして作り出されるのか、そして「当たり前」だと思っていることのなかに「問題」はないのか、一緒に点検していきましょう。

## ■学習到達目標

1. 社会学の基礎を理解すること。
2. 一人の生活者として自分たちを取り巻く社会の問題を析出・分析する力の養成。
3. 医療従事者の視点から目指すべき社会を構想する力を養うこと。
4. レポート作成により論述の仕方を身につけること。

## ■準備学習（予習・復習）

予習：日頃から、新聞やテレビのニュースを通じて国内外の情勢に関心を持つこと（毎日15分）。

復習：授業中に紹介した文献や資料を読むこと（30分）。

## ■授業形態

講義

## ■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	イントロダクション	社会学とは？社会学を学ぶことの意義とは？	
2	現代社会の構造	監視社会とは何か	
3	//	監視社会から監視文化へ	
4	//	リスクマネジメントと秩序形成	
5	//	コロナ禍における監視	
6	//	ビッグデータと個人識別	
7	近代国家の成り立ち	国民国家とは何か	
8	//	国民形成の諸装置	
9	//	ナショナリズムを考える	
10	身体・生命・医療	優生思想の歴史的変遷	
11	//	ドイツの優生政策と医療者の関与	
12	//	日本における優生政策の歴史	
13	//	治療を超えた医療を考える	
14	//	身体と生命をめぐる新たな諸相	
15	全体のまとめ	よりよい社会を構想するために	

## ■授業分担者

高野 麻子(No. 1～15)

## ■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

評価方法：①各回の小課題 15%＋②中間レポート 25%＋③最終レポート 60%による総合評価。

フィードバック方法：①小課題：学生が書いた文章を授業中にいくつか紹介し、短時間で自分の意見をまとめる方法をアドバイスする。②中間レポート：採点后に返却し、全体への解説を行ったうえで個別に質問を受け付ける。③最終レポート：随時個別に質問に応じる。

## ■教科書

教科書は使用しません。各回の授業でレジュメや資料を配布します。

## ■参考書

授業中に各回のテーマに関連する文献の紹介と解説をおこないます。